

## 令和4年度 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター事業経過報告（4～12月）

- 1 資料の収集・保存 ※\*月=資料審査会で承認された月
  - 5月：写真（1939年標茶町虹別でのイオマンテ）1件7点、漆塗りの桶及び蓋の部品1点
  - 6月：久保寺逸彦旧蔵資料・山田秀三旧蔵資料など計48点、首飾り1点
  - 10月：写真（樺太アイヌ）1件1点
  - 12月：
    - 上記の他、積丹町、帯広市等での資料調査等を実施。
- 2 展示
  - (1) 当館総合展示内クローズアップ展示（クローズアップ展示3・4の2カ所を主に分担）
    - 「田辺尚雄によるアイヌ音楽の調査記録」（3：4月15日～8月11日）
    - 「アイヌ口承文芸の中の虫たち」（4：4月15日～9月29日）
    - 「受け継がれる手業 二風谷の工芸品」（3：8月12日～12月14日）
    - 「アイヌ無形文化伝承保存会 その設立と歩み」（4：9月30日～12月14日）
    - 「萩中美枝さんの仕事」（3：12月17日～2023年4月）【開催中】
    - 「新しく仲間入りしたアイヌ民族に関する資料たち」（4：同上）【開催中】
  - (2) 当館企画テーマ展及び蔵出し展
    - 第3回蔵出し展「久保寺逸彦文庫—アイヌ文学研究者による調査と資料をとおして、時代をさぐる—」10月29日～2023年1月15日【開催中】
  - (3) 巡回展
    - ・第12回アイヌ文化巡回展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から 2022 釧路町」（9月3日、釧路町公民館、協力：公益社団法人北海道アイヌ協会）
    - ・第13回アイヌ文化巡回展、だて歴史文化ミュージアム特別展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から」（9月17日～11月27日、共催・会場：だて歴史文化ミュージアム）
- 3 調査研究
  - (1) アイヌ民族文化研究センターが主体となって立案し実施する研究プロジェクト
    - ・「北海道博物館収蔵資料の整理・分析に基づくアイヌ文化資料の利活用と総合的研究」
    - ・「アイヌ文化に関する基礎的・総合的・学際プロジェクト」
    - ※いずれも2020～2024年度（5年間）。詳細は『要覧7』P124～125を参照。
  - (2) 北海道博物館全体で取り組む海外との共同研究等のプロジェクト
    - ※詳細は『要覧7』P125を参照。
  - (3) 外部資金（科研費等）を活用した調査研究
    - ・R4年度新規課題：「博物館収蔵アイヌ民具資料の考古学的手法による分析：移入品としての漆器を対象として」（科研費基盤（C）、2022～2025、代表者：大坂拓）
    - ※過年度から継続中のものについては『要覧7』P126を参照。
- 4 北海道開拓の村の整備
  - 現在は直接該当なし
- 5 教育普及事業
  - (1) 冊子等の配布
    - ・アイヌ語ブロック（ペーパークラフト版） 増刷 3500部（8月）
    - ・アイヌ文化紹介小冊子 増刷準備中
  - (2) 行事（当年度内実施予定も含め掲載）
    - ・[ミュージアムカレッジ]「じっくり聴こう！アイヌの音楽」（5月29日、甲地利恵）参加28名
    - ・[子どもワークショップ]「アイヌ音楽 うたって・おどって・ならして」（8月7日、

- 講師：スルク&トノト、担当：甲地利恵) 参加 17 名
- ・ [ミュージアムカレッジ] 「民族音楽学」入門 (9 月 25 日、担当：甲地利恵) 参加 27 名
  - ・ [特別イベント] 「アイヌ音楽ライブ マレウレウコンサート」 (10 月 30 日、出演：マレウレウ、担当：甲地利恵) 参加 67 名
  - ・ [ミュージアムカレッジ] 「久保寺逸彦文庫を見る・読む・聞く①」 (11 月 6 日、担当：佐々木利和・大谷洋一) 参加 42 名
  - ・ [ミュージアムカレッジ] 「インターネットを使ったアイヌ語学習」 (11 月 20 日、担当：吉川佳見) 参加 10 名
  - ・ [ミュージアムカレッジ] 「久保寺逸彦文庫を見る・読む・聞く②」 (11 月 27 日、担当：小川正人) 参加 61 名
  - ・ [ミュージアムカレッジ] 「久保寺逸彦文庫を見る・読む・聞く③」 (12 月 4 日、担当：遠藤志保) 参加 39 名
  - ・ アイヌ語講座 全 4 回 (12 月 11 日、25 日、2023 年 1 月 8 日、22 日 担当：遠藤志保・吉川佳見) 12 月 11 日の参加 29 名
  - ・ [ミュージアムカレッジ] 「アイヌの英雄叙事詩を聞くーうたと言葉」 (12 月 17 日、担当：奥田統己) 参加 22 名
  - ・ (1 月予定) [ミュージアムカレッジ] 「ハレの日の装い」 (2023 年 1 月 14 日、担当：亀丸由紀子・尾曲香織 (生活文化研究グループ))

## 6 ミュージアムエデュケーター機能の強化

- ・ 「教員の日のための博物館の日 in 札幌」 (主催：一般財団法人北海道歴史文化財団、共催：北海道博物館) における「博物館の調査研究ミニ報告」の中で「北海道博物館のアイヌ語資料」を実施 (8 月 2 日、札幌市、遠藤志保)

## 7 施設及び周辺環境の整備

→ 直接該当なし

## 8 広報

- ・ 第 3 回蔵出し展にかかる取材対応など

## 9 評価制度の活用と利用者ニーズの把握

→ 直接該当なし

## 10 道民参加の推進

→ 直接該当なし

## 11 博物館ネットワーク

### (1) 国立アイヌ民族博物館ネットワークへの参画等

- ・ 国立アイヌ民族博物館運営委員会委員 (6 月 25 日～2023 年 3 月 31 日、小川正人)
- ・ 国立アイヌ民族博物館運営委員会のワーキング会議構成員 (7 月 4 日～2023 年 5 月 31 日、大坂拓)
- ・ 国立アイヌ民族博物館運営委員会のワーキング会議構成員 (9 月 2 日～2023 年 5 月 31 日、小川正人)
- ・ 国立アイヌ民族博物館ネットワーク運営委員会委員 (8 月 1 日～2023 年 3 月 31 日、小川正人)
- ・ アイヌ語アーカイブ研究会 (9 月 25 日) 「北海道立アイヌ民族文化研究センター・北海道博物館における採録音声資料公開の経験と課題」 (報告：小川正人)
- ・ 令和 4 年度プンカラ研修会 (11 月 10～11 日、参加：大坂拓、亀丸由紀子)

- (2) その他  
(特になし)

## 12 情報発信

当館ウェブサイト内「アイヌ文化を学ぶために」や「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」の改修(予定)

## 13 人材育成機能の強化と社会貢献

### (1) 令和4年度博物館実習(8月16~26日)

- ・ アイヌ文化研究センター担当: 8月21日、担当: 小川正人・亀丸由紀子

### (2) 委員等への就任(新規)

※過年度から継続しているものについては『要覧7』P110~111を参照。

- ・ 国立民族学博物館共同研究員(4月1日~3月31日、就任: 大坂拓)
- ・ 国立大学法人東京外国語大学非常勤講師「アイヌ語初級I」(4月4日~7月25日、吉川佳見)
- ・ 人間文化研究機構国立国語研究所共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」共同研究員(4月4日~7月25日、吉川佳見)
- ・ 北海道教育大学旭川校非常勤講師「教育史特講」(4月22日~9月30日、小川正人)
- ・ 令和4年度アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成事業委託業務プロポーザル審査会委員(環境生活部、6月上旬、小川正人)
- ・ 幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業基本計画策定事業者選考委員会委員(5月18日~8月31日、小川正人)
- ・ 北海道史編さん委員会専門委員(6月25日~令和6年6月24日、小川正人)
- ・ 北海道立北方民族博物館研究協力員(7月27日~2026年3月31日、小川正人・甲地利恵)
- ・ 北海道遺産第4回選定審査員(8月1日~2023年3月31日、小川正人)
- ・ 第3回北の絵コンテ対象アニメーション動画制作および発信委託事業に係る総合評価審査会構成員(環境生活部、10月13日~11月30日、小川正人・甲地利恵)
- ・ 幕別町アイヌ文化拠点空間整備アドバイザー(10月17日~2023年3月31日、小川正人)

### (3) 講師派遣など

5月

- ・ 苫小牧市美術博物館令和4年度企画展「アイヌ刀 エムシ・タンネピコロ・タクネピコロ」関連講演会「アイヌ民族の刀帯 その変化と復興のあゆみ」(5月28日、苫小牧市、大坂拓)

7月

- ・ 帯広百年記念館 博物館講座「博物館展示を通して考える『アイヌ文化』」(7月16日、帯広市、大坂拓)
- ・ 江別市教育研究所「令和4年度江別市教職員夏期セミナー」講義「アイヌ民族の歴史と文化」(7月28日、札幌市、小川正人)

9月

- ・ 日本環境測定分析協会「第24回日環協・経営セミナー全国大会 in 北の大地」特別講演「アイヌ文化の現在」(9月2日、札幌市、小川正人)
- ・ 公益社団法人北海道アイヌ協会「アイヌ民族文化祭2022」講演I「アイヌ音楽と出会う」(9月3日、釧路町、甲地利恵)
- ・ 酪農学園大学「2022年度JICA研修「環境管理(海洋ゴミ対策)」コース」講演「アイヌ民族について 特に自然との関わりについて」(9月9日、札幌市、遠藤志保)
- ・ 国立アイヌ民族博物館「令和4年度アイヌ語アーカイブ研究会」講演3「北海道立ア

アイヌ民族文化研究センター・北海道博物館における再録音性資料公開の経緯と課題」  
(9月25日、オンライン、小川正人)

10月

- ・一般財団法人北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館「第36回北方民族文化シンポジウム 網走」セッション3座長(10月15～16日、網走市、甲地利恵)
- ・伊達市教育委員会「だて歴史文化ミュージアム講演会」「山田秀三の伊達市におけるアイヌ語地名研究から」(10月22日、伊達市、佐々木利和)

11月

- ・北海道世界文化遺産活用推進実行委員会「2022年度縄文遺跡群ボランティアガイド養成講座」講義「アイヌの立場から見た北海道史」(11月12日、札幌市、小川正人)

(4) 執筆など

- ・『開発こうほう』連載「アイヌ民族の歴史と文化—〈ひと〉〈もの〉〈ことば〉からさぐる—」(4月号：佐々木利和、5月号：遠藤志保、6月号：吉川佳見、7月号：亀丸由紀子)
- ・朝日新聞夕刊連載「アンカンルピリカ アイヌの美」(4・6・8・10・12月、2023年2月、全24回、大坂拓)
- ・北海道立北方民族博物館友の会・季刊誌『アークティック・サークル』123号「北の旅日記」(6月17日発行、小川正人)
- ・東京外国語大学『語学研究所論集』27号特集補遺コーナー(2023年3月31日Web発行予定、吉川佳見)

14 研究成果の発信

(1) 当館研究紀要への発表

- ・『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』8号  
※11月16日時点：エントリー10件

(2) 外部の学術雑誌等への発表(刊行済のみ掲載)

- ・大坂拓「アイヌ民族の塩利用」『日本列島の人類史と製塩』(季刊考古学別冊)
- ・大坂拓「琴似又一郎の写真について—北海道大学附属図書館所蔵資料の再検討—」『札幌博物場研究会誌』2022
- ・大坂拓「北海道地券発行条例によるアイヌ民族『住居ノ地所』の官有地第三種編入について—札幌県作成『官有地調』の検討を中心として—」『北方人文研究』16(2023年3月31日刊行予定)
- ・大坂拓「近代初頭の石狩川下流域におけるアイヌ民族の漁場と土地—鮭漁を基軸とした季節的移動サイクルの終焉とその後—」『北海道東北史研究』(近刊)
- ・加藤克・大坂拓「札幌博物場所蔵アイヌ民具資料(死体包装用縄・背負縄)の資料情報の復元」『札幌博物場研究会誌』2022(2022年12月刊行予定)

15 アイヌ民族文化研究センターの事業

→本資料1～14、16

16 4つのビジョン

重点③民族共生象徴空間とりわけ国立アイヌ民族博物館との連携

→本資料11(1)